

# 東陽病院だより

## 『薬だけ』の受付が 変わりました

東陽病院の外来受付は、今まで「診察」と「薬だけ」の二つの診察券入れにより受付をしていましたが、待時間を少しでも短くするため「薬だけ」の受付を三月から次のように区分することにしましたので、お間違いないようご協力をお願いします。

### 薬をお持ち帰りの方

診察券を「薬をお持ち帰りの方」の箱に入れてホールでお待ちください。窓口で呼ばれましたら会計を済ませて、薬局で薬を受け取ってください。

### 薬を午後取りに来る方

診察券を「薬を午後取りに来る方」の箱に入れて一度お帰りのいただき、午後二時から五時までの間に来院し、会計を済ませて薬局で薬を受け取ってください。

### お願い

特別な事情のある方以外は、なるべく午後薬を取りに来るようにお願いします。また、薬だけをお持ち帰りに

なった方は、次回に診察をするようにしてください。

### 四月から

### 泌尿器科

### 診療日時変更

←  
いままで 毎週木曜日午後  
これから 毎週火曜日午前中

## 保健婦メモ

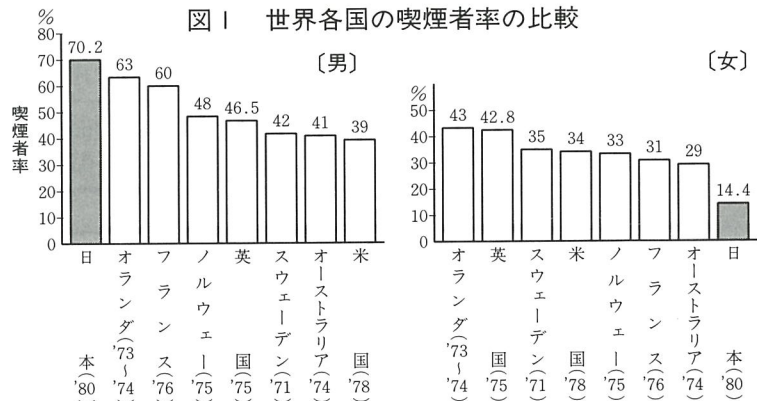
### たばこと健康

### 喫煙率

わが国の成人喫煙率は逐年低下していますが、諸外国に比べ



るとたび抜けて高くなっています。喫煙率は次のとおりになっています。



女性の喫煙率は低下しましたが、若年の女性の喫煙率が増加しています。  
(なぜ禁煙運動が盛んになつてきたのでしょうか)  
タバコは、以下の病気の発生と深い関係にあることがよく知られています。

- ① 喉頭がん
- ② 肺がん

- ③ 慢性気管支炎や肺気腫などの慢性の呼吸器病
- ④ 心筋梗塞、狭心症などの心臓病
- ⑤ 動脈硬化
- ⑥ 妊婦の喫煙による胎児の発育障害
- ⑦ 婦人の子宮頸がん
- ⑧ その他男女とも全部位のがん

以上の病気は、当然一日に吸うタバコの本数が多ければ多いほど、そして喫煙開始年齢が早ければ早いほど、喫煙年数が長ければ長いほど、顕著にみられる現象です。つまり、これらの病気はひとことという「タバコ病」です。タバコの習慣がひきおこす病気だからです。

「喫煙者」は「非喫煙者」に比べると、喉頭がんは男が32倍、女が4.3倍、肺がんは男が4.43倍、女が2.33倍、虚血性心臓病では、男が1.7倍、女が1.8倍発生するといった恐ろしい数字が出ています。

このように、タバコは吸う人の健康を害し、人間の寿命を縮めてしまうのです。(図2参照)

### 喫煙者は

### 回りの人の健康も 侵しています

喫煙者は自分の健康を害して

いるだけでなく、周囲の空気を汚染することによって、家族や周りにいる他人にも迷惑を与えています。(タバコの煙には喫煙したときに吸入される主流煙とたばこから立ちのぼる副流煙とがあり、有害物質は副流煙に多く含まれるため)

このようなことを考えると、喫煙はただタバコを吸うその人だけの問題でなく、家庭や社会の問題と見えます。もう一度、タバコについて考えてみてはいかがでしょう。

町では、喫煙指数が高い人や希望者に対して肺がん検診を実施しています。一般健診時に実施しますので、ぜひお受け下さい。(実施予定9月・10月)

タバコと健康から

図2 がんの部位別にみた、非喫煙者を1.00とした場合の、毎日喫煙者の標準化死亡比

